

2007 年度第 2 回定時総会レポート

梅雨の始まりを感じさせる5月25日、平成19年度の総会が東京・新宿にて開催されました。遠方からの参加者を含め14名で総会がスタート。

まずは会長木村さんの開会挨拶の後、19年度の活動報告と会計報告が行われました。19年度の活動は、医療講演会が2回、会員交流会が1回、「血管腫・血管奇形 IVR 研究会」への参加と、幅広い活動となりました。中でも、医師が中心の研究会や学会に木村さんが参加され、患者会の存在をアピールしたお話は非常に印象深いものでした。硬化療法への保険が適用されない中、医師側がこの疾患に積極的に取り組んでいくためにも、患者会からの働きかけが重要とのことでした。患者だけでなく医師にとっても、患者会への期待度が高いということが改めて分かりました。

続いて運営状況報告と20年度の活動予定に関する協議が行われました。役員選出については、従来の役職に加えて新たに設けられた HP 担当や陳情担当、会計監査担当などの選出が話し合われました。患者会として行いたいことが山積みの中、マンパワーが圧倒的に足りない現状を目の当たりにしているところ、鳥飼さんの立候補を皮切りに、「今の自分で役に立てること」という思いから次々と立候補の手が上がり、役員が決まっていきました。

また、今後の活動内容についても活発に意見が交わされました。その結果、医療講演会は1回、交流会は会員同士が任意に行えるように、会誌は総会后発行、などが決まっていきました。

意見が活発に交わされたため、予定されていた参加者同士の交流時間がなくなりましたが、全体的に和やかな雰囲気の中、総会は終了しました。参加者全員がこれまでの患者会への感謝と、これから少しでも役に立ちたいという思いであふれていたと思います。